



Red Hat OpenShift を活用した SAP ハイブリッド統合の強化

Red Hat は、Gartner による [2024 年 Gartner® Magic Quadrant™ for Container Management](#) でリーダーに選出されました。¹

Red Hat は、Forrester Research による [2023 年 Forrester Wave™ for Multicloud Container Platforms](#) でリーダーに選出されました。²

SAP ソリューションの機能をオンプレミスのワークLOADに適用

SAP が提供する新たなテクノロジーを活用しようと企業が方針転換する中で、その多くが機密データやワークLOADをクラウドに移行するにあたり課題に直面しています。その主な要因として、セキュリティやコンプライアンス上の懸念、そして運用の分離が挙げられます。その結果、多くの企業がハイブリッドアプローチを模索しています。

[SAP Process Integration/Process Orchestration \(PI/PO\) の論理的な後継である SAP Integration Suite](#) は、マルチクラウド型ハイブリッド統合プラットフォームであり、この移行を行う企業に多くのメリットをもたらします。

SAP Integration Suite には、[Edge Integration Cell](#) というハイブリッド統合ソリューションが含まれています。SAP Edge Integration Cell を利用することで、SAP クラウド内でアプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) およびその他の統合コンテンツを設計し、それを SAP クラウドまたはオンプレミスにデプロイして管理できます。そのため、機密データをこれまでどおり自社のローカル・セキュリティ・フレームワーク内で保存し、処理できます。また、接続が切断された状態でも実行できるので、サービスのレジリエンスが向上します。こうしたことは、製造業や公益事業など、さまざまな業界における主要なユースケースにおいて、ますますその重要性が高まっています。

SAP Edge Integration Cell は、SAP Process Integration を Ground-to-Ground 統合に使用するお客様をサポートします。SAP Integration Suite のあらゆる最新機能を利用できると同時に、複数の統合セルの実行を選択できるハイブリッドポストチャを維持できるので、SAP Process Orchestration をご利用のお客様にとって魅力的な移行パスとなっています。

SAP を利用するお客様がこうした機能の価値を最大限に活用するには、信頼性が高く、包括的で一貫性のあるハイブリッドアプローチをあらゆるデリバリー環境で提供する、エンタープライズグレードのプラットフォーム上で SAP Edge Integration Cell を実行する必要があります。

fb.com/RedHatJapan
 twitter.com/RedHatJapan
 linkedin.com/company/red-hat

1 Dennis Smith, Tony Lams、「[Gartner® Magic Quadrant™ for Container Management](#)」、Gartner、2024年9月12日。

2 Lee Sustar、「[The Forrester Wave™ : Multicloud Container Platforms, 2023 年第 4 四半期](#)」、Forrester、2023年10月2日。

Red Hat OpenShift 上で SAP Edge Integration Cell を実行することで得られる価値

SAP と Red Hat は長年にわたるパートナーシップの一環として、クラウド環境とオンプレミスの両方において Red Hat® OpenShift® 上で SAP Edge Integration Cell を実行できるよう、共同でエンジニアリングとサポートを進めてきました。

Red Hat OpenShift は、さまざまな業界のお客様から厚い信頼を得ています。組み込みのセキュリティ機能、専任サポート、信頼できるソフトウェア・サプライチェーン、そしてオペレーティング基盤である Red Hat Enterprise Linux® を備えた Red Hat OpenShift は、SAP Edge Integration Cell などの重要なアプリケーションのサポートに理想的なハイブリッド・プラットフォームです。

Red Hat OpenShift と SAP Edge Integration Cell を併せて利用することで、SAPをご利用のお客様が必要としている、機密データとオンプレミスで維持する必要のあるカスタムアプリケーションとの橋渡しができます。また、SAP クラウドからのみアクセスできる SAP の数々の便利なツールにもアクセスできます。SAP のソリューションがもたらす価値を SAP のクラウドサービスの中核部分にとどまることなく補完、拡張し、クラウドネイティブ・アプリケーションへの投資をインテリジェントエッジまで拡大します。

すでに Red Hat OpenShift をご利用のお客様の場合、既存のプラットフォームを利用して SAP Edge Integration Cell を実行することで、IT の複雑さを増大させることなくメリットを享受できます。また、OpenShift マネージドインスタンスの利用を希望するユーザー向けに、SAP は [Microsoft Azure Red Hat Openshift](#) もサポートしています。

Red Hat OpenShift 上で SAP Edge Integration Cell の実行を始める

Red Hat OpenShift が SAP Edge Integration Cell に関するニーズをどのようにサポートできるかについて、お気軽に [Red Hat にお問い合わせください](#)。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052